あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター「関＊はもみん」

10 月16 日～31 日にあった市内の話題を中心にご紹介します。

関警察署被災時 市施設使用

関市と関警察署は10 月22 日、同署が地震などの大規模災害によって被害を受けた場合、関市地域防災計画に基づく活動に支障のない範囲内で、わかくさ・プラザの総合体育館・サブアリーナなどを署の執務室として使用する協定を締結しました。東日本大震災で、現地の災害救助の拠点が機能しなくなった現状を踏まえ、本協定締結の運びとなりました。市民の生命や財産を守るために市と警察が連携し、万が一の際にも迅速な対応ができるようになりました。

サツマイモいっぱいとれた

10 月下旬、関市老人クラブ連合会が主催して、市内の保育園・幼稚園児約1,200 人が「ふるさと農園美の関」の畑で、ふれあいイモ掘り体験をしました。同会が無農薬でサツマイモを育て、毎年この時期に収穫体験を実施しています。園児らは、悪戦苦闘しながら畝（うね）を掘り起こすと次々とサツマイモが顔を出し、あちこちで歓声が上がりました。大きく育ったサツマイモを一斉に掘り出し、楽しい時間を過ごしました。

ラグビー 闘志に燃える熱戦

国体の開催で市民の関心も高まった中、ラグビーフットボールフェスティバルが10 月20 ～21 日、中池多目的広場で開催され、選手らが闘志あふれるプレーを展開しました。地元関商工高校、関市中学生選抜が東海四県から集まった高校生や中学生と対戦。速いパス回しや積極果敢なタックルなど、トライを目指して白熱した試合が繰り広げられました。試合後は、互いの健闘をたたえ合い、交流を深めました。

鵜飼を縁に災害協定

鵜飼で知られる関連自治体「全国鵜飼サミット」に参加する関市、日立市、笛吹市、岩国市、岐阜市、犬山市の6市が、関市の呼びかけで災害時相互応援協定を締結。10月26日、山口県岩国市で締結式が行われました。災害時における広域的な相互支援体制が構築された大変有意義な協定で、今後サミットの場で事例発表などを行い、危機管理について情報共有するなどして、大規模災害に対し備えを万全にしていきます。

家族で秋と東北を満喫

岐阜県百年公園で10月20～21日、秋恒例の「オータムフェスティバル」が開催されました。中学生がたてる抹茶を味わう名物の野点コーナー、園児たちの和太鼓演奏など、多彩な催しで来場者をおもてなししました。また、東日本大震災の復興支援も兼ねて、東北物産展やご当地マスコットが登場して観光に関するクイズ大会なども行われ、多くの家族連れがイベントを満喫していました。

夢はサッカー選手!

10月30日、サッカー・ＦＣ岐阜のコーチングスタッフによるスポーツ教室が富野小学校で開かれ、全校児童がプロの指導を受けながらサッカーを楽しみました。鬼ごっこやジグザグドリブルの練習、ミニゲームなど各学年に合わせた授業が行われました。児童らはプロのコーチとふれあいながら、大きく蹴られたボールに果敢にヘディングを試みたり、ヒールキックでパスを出したりするなど、サッカーの技術を学びました。

健康・福祉に関心を

関市文化会館で10月21日、健康福祉フェスティバルが開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。社会福祉協議会の各支部による果物販売、うどんや団子といった飲食コーナー、各種ボランティア団体によるバザーや作品展示、健康相談などがあり、市民の健康増進と福祉の向上を呼びかけました。園児の和太鼓やダンスなどにぎやかな雰囲気の中、参加者は健康と福祉への理解を深めていました。

こぼれ話

10月28日（日）に市内全域で「関市総合防災訓練」を開催しました。今年は瀬尻小学校を主会場に、4年ぶりに昼間の訓練となりました。今回は、南海トラフ巨大地震が発生して、市役所で震度6弱の揺れを観測、家屋の倒壊や土砂崩れ、道路の寸断、電気・ガス・水道などのライフラインが遮断された想定で実施しました。

この総合防災訓練には避難訓練をはじめ、主会場での体験訓練も毎回場所が変わるので、多くの市民の方が一度は参加されたことがあるかと思います。当日はあいにくの雨でしたが、多くの皆さんが関心を持って、さまざまな訓練を体験され、消火訓練や救出救護訓練など、皆さん真剣な顔で、いざという時のために備えてしっかりと学んでいらっしゃいました。

私も取材中、体育館で行われた避難所設営訓練で、テントを設置するスピードがめちゃくちゃ速いことに驚き、応急手当訓練で負傷者役の方たちの超リアルな傷（特殊メイク！）に、手当の様子を見ていた子どもたちも、私もこんな(・。・)表情でした！

災害はいつ発生するのかわかりません。皆さんも地域で、家族で、職場で、この機会に防災について話し合ってみませんか。